

---

## 伝言板

メーカーの機種が中古機市場で数多く流通した。パチスロでは5号機の新台リリースが相次ぐ中、5号機の中古機移動も増加傾向に。価格面は今夏に向け5号機新台の供給不足をにらんだ割高感が依然進行。が、登場機種数も増え、時間経過により価値の劣化が見られるようになった」と分析。

### リカバリーサポート・ネットワーク『さくら通信』でメッセージ

ばちんこ依存問題相談機関【リカバリーサポート・ネットワーク】が、広報誌『さくら通信』第4号をリリース。代表の西村直之氏が「のめりこみでお困りのばちんこユーザーの立場に立ってサービスを展開していきます」と熱くメッセージを発信。「昨年7月よりホール内でのポスター掲示が行われ始め、徐々にユーザー御本人からの相談が増えてきました。この動きを見守り、開設当初はマスコミにも広く活動紹介を発信し注目を集めたリリースも敢えて一時控えていました。本来届けるべきサービスの対象者である“ばちんこユーザー”へは届きにくいことが分かったからです。しかし、その結果、相談件数は減少してしまい、広報のあり方を再考。改めて有力全国紙で活動紹介され、1月の相談件数は90件を超えました。また“ホールのトイレでチラシを目にし、電話した”という相談者もいました」と近況レポート。

## 山田理事長、全日遊連理事会で 「リカバリーサポート」ポスター掲示で協力求める

全日遊連は去る3月14日、都内ホテルで全国理事会を開催したが、その冒頭、挨拶に立った山田茂則理事長は①機構への誓約書回収は順調に進んでおり、協力に感謝する、②作製した「リカバリーサポートネットワーク」ポスターの店内掲示をお願いするなど語った。また、同ネットワークの事務所開設以来、これまで寄せられた相談件数が864件に上ったことも報告。山田理事長の挨拶は大意、下記の通り。

①有限責任中間法人 遊技産業健全化推進機構に提出する誓約書の配布・回収に多大なご協力を頂き感謝する。お陰様で、誓約書の回収は順調に進んでいる、とのことである。

②先ほど全日本社会貢献機構の臨時総会が開催されたが、規約の改定と専

務理事の選任で承認頂き、お礼申し上げます。社会貢献機構では、会員である各ホール向けのB2版のポスターを制作した。ポスター図案の内容は「未来に向けて平和で住み良い社会作りをめざします」というヘッドコピーで、シンボルマークの周りに業界の社会貢献の取組みがビジュアル化され、一番下に「当店は全日本社会貢献団体機構会員であるパチンコ・パチスロの協同組合のメンバーです」との文言が入っている。このポスターは会員である各都道府県組合の活動と、全日本社会貢献団体機構の活動が一体となった形でホール業界全体の社会貢献が行われていることをお客様に広く知らせることが狙い。4月上旬に、各ホールに2枚配付する予定であり、当業界の社

会貢献の実情がより広く認知されて継続発展していくための一翼となるように、各ホールへの掲示をお願いする。

③リカバリーサポートネットワークの相談窓口ポスターの掲示をお願いしたい。去る2月24日、同サポートの第3回運営委員会が開催されたが、事務所開設以来これまで、864件の相談が寄せられたことが報告された。また、運営委員会の席上、啓発用ポスターの店内掲示が有効であることが重ねて話題にされた。

私たちが身近で手軽な大衆娯楽をお客様に提供している健全な業界であると評価されるためにもお客様を取り返しのつかない状況に追い込まないようにすることが必要。お客様を守ることが、すなわち業界を守ることに繋がる。そのための重要な役割を担っているのがリカバリーサポートネットワークなので、同活動に理解を頂き、ぜひ啓発用ポスターの掲示をお願いする。